



カメラ女子 五箇に焦点

越前市 県内外20人ツアー

女性カメラ愛好者が「福井ふるさと百景」に選ばれた場所

が五日、越前和紙産地の越前市五箇地区で開かれ、県内外から二十人が参加した。参加者が撮った写真はふるさと百景の専用ホームページ(「福井ふるさと百景」で検索)に掲載し、街

気に入った被写体を撮影する参加者ら(越前市岩本町で

並みのPRに役立てられる。

福井ふるさと百景は、豊かな自然や伝統に培われた町並みなど美しい景観を県が選定している。今回のツアーは、認定地の一つである「越前和紙の里」を巡り、街並みの美しさや歴史を楽しんでほしいと県や県観光連盟などが企画した。

講師は、県内の女性カメラ愛好者でつくる「福井*

カメラ女子の会」代表の寺下有花さん(こも)。参加者は寺下さんと古い街並みを散策。「風景の撮影は、水平と垂直に気を付けて。柱など真っすぐな物を目印にして」などとアドバイスを受けながら、草花や住宅などを写真に収めていた。

同市文室町の高橋恵さん(こも)は「撮り方を教えてもらって勉強になった」と話していた。(松原育江)

2014年(平成26年)10月7日(火曜日)

永富

井

カメラ女子が 和紙の里活写

越前市でツアー

写真の撮り方を学びながら県内の歴史や伝統について知識を深める「福井ふるさと百景」カメラ女子ツアーが5日、百景に指定されている越前市今立地区の「越前和紙の里」エリアで開かれた。

県と県観光連盟が開いた。昨年開いた福井市の一乗谷などに続く第2弾。写真家の寺下ユンさんが講師を務め、県内を中心に愛好家20人が参加した。

参加者はミニ講座で構え方や露出の設定など撮影の基本を学んだ後、



お気に入りの構図を探しながらシャッターを切る参加者—5日、越前市大滝町の大瀧神社

風情がある和紙の里通り、五箇地区、大瀧神社

ツアー終盤の写真講評

をゆっくりと巡り、思い思いの構図でシャッターを切った。寺下さんからアドバイスを受け、視線の高さを変えたり、被写体を強調できる三分割法を意識した参加者もいた。

会では、和紙ランプの柔らかな風合いをとらえた写真や、古い町並みを背景に手前の水滴を強調した一枚など成果を披露していた。

福井市から参加した畑智江美さん(32)は「今立

地区は訪れる機会が少なく、日ごろ撮れない写真を撮ろうと参加した。視線を変えられることや他の参加者の撮り方が参考になった」と満足げだった。

(青木孝浩)